

児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

1 基本情報

◇各教科等 遊びの指導（ぞうけい）

◇学部・学年 小学部 第3学年

◇単元名 「絵の具で遊ぼう」

◇単元の目標

- ・見たことや感じたことをはけや筆などの道具を使って、書くことができる。
- ・色や道具の名前になれることができる。
- ・造形活動を通して、教師や友達と簡単な決まりのある遊びをすることができる。
- ・造形活動を通して、集団での遊びに参加し、簡単な係活動をすることができる。

◇付けたい力

いろいろな素材に触れたり、道具を使ったりして、造形活動を楽しむことができる。

◇本時の目標 「画用紙全体に絵の具を塗ろう。」

◇児童の実態 絵の具で色を塗ることに興味が持ちづらい児童が二名おり、指導者の支援が必要である。他二名の児童は、絵の具を使った活動に意欲的であり、自分で考えながら

2 期待する児童の姿

- ・夢中になって色を塗る姿。
- ・指導者の見本や友だちが作る姿を意識して、自分なりの作品を作ろうとする姿。

3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

- ・画用紙の余白がなくなるまで自ら塗っていた。
- ・ねこの台紙に色を塗り終えたあと、画用紙に指で「ねこ」と書いていた。
- ・画用紙を切って、自分の好きな形の目や鼻などを作り、顔のどの部分に貼ろうかじっくりと考えていた。